

かわむらこどもクリニックNEWS

Volume 12 No 10

135号

平成16年10月1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255 HOMEPAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

いまプロ野球が面白い!

院長

今回は医学的なことから離れて、野球の話をしたと思います。

自分と野球の出会いは小学3年生位でした。今のリトルリーグの前身で、少年野球大会というのがありました。はじめて大会に出たのが、4年生。その当時はかなり身体が小さかった(今でもですが)ので、打順は一番でした。どうして小さいのが一番かという、お気づきの方もいると思いますが、フォアボールを選びやすかったという理由からです。どうも今考えると、淋しい選手起用だったようです。その頃はクラスで一番小さく、可哀想なほどのがりの痩せっぽちでした。今の風格ある(?)体格とは、まるで別人のようでした。少年野球大会は6年生までの大会でしたが、我々は同級生の集まりで全員4年生だけで戦いました。結果はどうだったかと思い出してみましょ。何しろ今から40年以上前ですから記憶は定かではありません。しかし、覚えていることが2つあります。当時の守備はセカンドでした。器用さはあってグラブさばきはなかなかのものでしたが、何分肩も弱かったためセカンドという選択しかありませんでした。少し高めフライが上がりました。はじめての試合で緊張したせいもあって、少し目測を誤ってしまいました。フライはキャッチできたのですが、バランスを崩して後ろに倒れてしまいました。駆け寄ってきた皆の心配そうな顔が、今でも思い出されます。もう一つは表彰式、手ぬぐいをもらったことが鮮明に思い出されます。手ぬぐい(これがタオルでない所がリアルですが)だったので、恐らく参加賞だったのでしょ。こんな野球少年だったことが、懐かしく思い出されます。悪い思い出(特にないのですが)のせいか、その後の野球人生はありませんでした。もっぱら野球観戦(もちろんテレビですが)ですが、経験もあり大変興味があるスポーツの一つです。

さて最近の話題のNo.1は、何といってもイチローでしょう。野球通ということで、イチロー選手の経歴を少し紹介しましょう。本名は、御存知のように鈴木一朗です。愛知

県生まれで、31才、誕生日は10月22日(自分は10月2日でどこか共通:ちょっと関係ないか)です。高校は野球で有名な愛工大名電高で、2年生と3年生で2回甲子園に出場しています。オリックス・ブルーエーブにドラフト4位で指名され、92年に入団。94年に鈴木一朗から登録名をイチローに変えて、快進撃が始まりました。日本での記録も素晴らしく、数え上げたらきりがありません。もっとも素晴らしいことは94年から00年まで7年連続首位打者という偉業です。日本でのシーズン最多安打は210で、これも未だに破られていません。その後は大リーグのマリナーズに移籍し現在に至っています。大リーグへ移籍前には、日本のプロ野球関係者は、イチローは大リーグでは通用しないという意見が大半でした。しかし予想とは異なり、入団1年目でも234安打の新人安打記録を作りました。アメリカでは、内野安打の多さから評価は充分ではないばかりか、否定的な意見も多くあったようです。この頃はアメリカの野球のパワーだけが強調され、バリー・ボンズがシーズン最多の73本のホームランで盛り上がっていた頃です。しかし、控えめで目立たないイチローも着実に、その存在を示し続けていたのです。3年連続のシーズン200安打、それが今年になって大リーグ記録を抜こうとしているのです。10月1日にはシーズン最多安打の大リーグ記録を8年ぶりに塗り替えました。この大リーグ記録を塗り替えるためには、大きな努力があったことでしょう。



我々凡人には考えられないプレッシャーと戦う強い精神力、それを裏付ける努力によって固められた自信、これがイチローの大きな魅力の一つです。物静かで冷静に自分を見つめているような、そんな印象をインタビューで感じたのは自分だけではないはず。我々も大きなことはできないけれど、見習って行きたいものだと思います。

日本のプロ野球にも大きな動きがあり、仙台も注目になっています。ライブドアか楽天なのか、興味のある所です。この話題は、何れ機会がある時にでも、どちらにしても、日本のプロ野球も発展してもらいたいものです。



10月のお知らせ

・お母さんクラブ

10月16日(木) 14:00 ~
福沢市民センター

・栄養・育児相談

毎週水曜 13:30 ~
栄養士担当 無料



インフルエンザの予防接種の予

約受け付けます。接種は10月中旬以降の予定です。13歳以上は原則1回です。また13歳未満では、1~4週間の間隔で2回接種します。接種年齢は生後6ヶ月以降です。

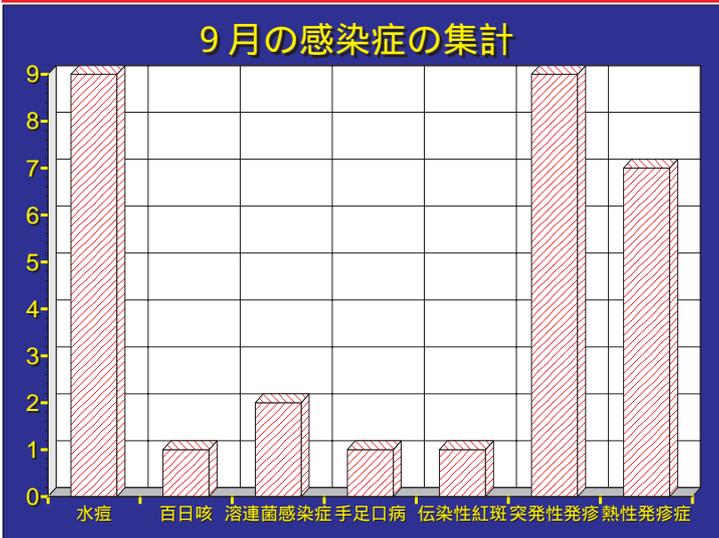
接種料金(1回) 3150円(消費税込)

読者の広場

先月は6件のメールを頂きました。患者さんも少ない時期なので、メールも少ないのでしょう。土曜日の昼休みに急変し、わざわざ富谷町から駆け付けた川原さんからのメールです。「川村先生、スタッフの皆様、土曜日はありがとうございます。お蔭様で天真は翌朝には目の腫れもひきました。湿疹が出始めてすぐお電話をしたのですがその間にも目やら呼吸やら症状が出てきてかなり動揺しました。正直...呼吸が止まるんじゃないかと不安で...。「お昼休み...」と思いながらも、「先生お願いします！診て下さい！」の思いでお電話しました。普段忙しくされてる先生やスタッフの皆様の大事な休憩時間を削ってしまってすみません。でも駆け付けた私達にいつも通り温かく、対応して下さい涙が出る思いでした。彩音も「天真もお姉ちゃんみたく川村先生に治してもらって良かったね～」と...。本当にありがとうございました。」。急変時にはお昼休みも関係ありません。ともかく連絡してみてください。もう一つは、ちょっと長いメールですが紹介します。「うちの子が川村先生にお世話になる事、早10年?!近くなると思います。月日が経つのはホント早いと実感しています。小さい頃から風邪をひくと咳がひどくする思いで川村先生に診てもらってました。子供も小さい時から川村先生の病院が大好きで風邪をひくと喜んで「川村先生のところ行く!」とよく言っていたのを思い出します。最近では喘息になり通院しておりますが、今回メールしようと思ったのは医師に対しての疑問というか不安・愚痴かな?。先日、湿疹のようなものができ某皮膚科へ連れて行きました。(略)飲み薬を出すと言われたので喘息の薬を飲んでいるから大丈夫か確認するとビタミン剤だから大丈夫との返事が。そこまでは良かったのですが、どこの病院に通っているか聞かれたので川村先生の病院名を言うと、「あ、そこは喘息専門の小児科じゃないからね。うちでアレルギー検査したらダニ科とイネ科の反応が出たじゃない、採血して血液センターに送った検査結果はあてにならない。」と言われびっくりしました!!。私の中では皮膚科、小児科と科は違うけれど川村先生は小児科の医師としていろんな症状の子供達を診てるし勉強もして知識も確実にある!と思っています。皮膚科の医師に反論したかったくらいでした!。今回感じたのは、親も子も病院に行き原因や症状の対応の仕方等聞いて安心したいのに、医師からあそこは専門じゃないからとかあてにならないと言われてしまうと病院選びに迷い、何を、何の言葉を信じて信頼できる病院を選ばなくてはいけないのか、すでに迷っている親、子供本人がいるんじゃないかと。ちゃんと患者の話も聞かずせわしく診察するあなたの方が信頼できない!と私は感じました。科は違うけれど何か医師の派閥?を見たというか聞かされた?とにかく嫌な感じでした。だったら最初からその皮膚科に行くなよと言われそうですが、良い皮膚科が分からず近場に行くしかなかったのです。川村先生にこんなメールをして嫌な思いをさせたかもしれないかもしれませんが、どーしても私自身納得?いかずメールしてしまいました。私は子供の喘息で病院を変えるつもりはありませんので今後とも宜しくお願い致します!。これからも川村先生頑張って下さいね、私たち親子は川村先生、笑顔が絶えない看護婦さん、かわむらこどもクリニックが大好きなんです(^o^)(略)。あと何年子供がお世話になるか分かりませんがね(中学になるのもあとわずかだし)小児科から内科に変更する時期とかあるのでしょうか?。それでは10月初めにまた診てもらいに行きますので(^o^)メールが長くなり申し訳ありません、送った私が言うのもなんですが気分悪くならないで下さいね。」。勇気あるメール、ありがとうございました。かわむらこどもクリニックのこと、すごく信頼している気持ちが良く伝わってきます。その皮膚科の先生に嫌われそうですが、あえて掲載します。もちろんメールをもらった人には迷惑がかからないように、匿名にします。いつも書くことですが、病院は治療するだけではなくて、安心をもらってるところなのです。我々もこのメールを一つの糧として、スタッフ一同、もっともっと皆さんのために良いクリニックでありたいと思っています。小児科から内科へということですが、本人が納得すればいつまでも当院でかまいませんよ。高校生でも来ている子もいますよ。しかし、高血圧や糖尿病は勘弁して下さい。



お母さんクラブの御案内 10月は、「ちゃんと付いていますか? チャイルドシート」を日本自動車連盟(JAF)の御協力により開催します。会員以外の方も参加できます。詳しくは受付まで。



水痘が少し増加傾向です。百日咳の患者さんが、今年2例目です。三種混合は速めに。少し喘息が増えてきました。

ポリオ予防接種のお知らせ

今月はポリオの接種があります。年に2回ですので、該当する方は忘れずに受けるようにして下さい。住所が表に無い方はスタッフまで。詳しい表をお渡ししています。対象者は次の通りです。

- 第1回 平成16年1月1日～6月30日生れの児
- 第2回 平成16年4～5月に1回目の投与を受けた児
- その他 投与を延期していた90ヶ月までの児

院長は、**10月14日(木)青葉区保健福祉センターが、接種担当**ですが、成人の担当です。昭和50～52年のお母さん方には、再度接種することをお勧めします。お母さんと一緒なら、大丈夫です。

編集後記
今回発行が少しおくれたしまいました。毎月題材を考えるのですが、以前と重複しないことを原則にしています。となると少し種が尽きてきたようです。医学的なことばかりでは面白くないし、はたして今回ののはどんな評価ができるか?。心配です。できれば、リクエストでもお願いします。

